

## 「静岡大学男女共同参画推進室」看板上掲式

本学は、男女共同参画の推進を図るため、本年2月に「静岡大学男女共同参画推進室」を設置し、このほど看板上掲式を行いました。

本学では、平成19年4月から興学長による新体制のもと、「男女共同参画担当副学長」を新設し、同大学初の女性副学長を配置、同氏を座長とした「男女共同参画戦略WG」において、男女共同参画に関するアンケートや「男女共同参画シンポジウム」の開催など、様々な取り組みを行ってきました。

推進室では、新たに設置した「男女共同参画推進委員会」と密接に連携を取り、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援体制の構築、男女共同参画に関する啓発活動、広報活動及び地方公共団体との連絡調整など、学内における男女共同参画の推進にあたることとし、本学における男女共同参画推進のより一層の強化が期待されます。



清水室員

興学長

大村副学長

中村学長補佐

中島総務部長

# 女性研究者の支援強化

## 静大が男女共同参画室設置



静岡大(静岡市駿河区大谷)は女性研究者の支援に取り組み「男女共同参画推進室」を学内に設置し、二十九日、開設式を行った。男女共同参画に関する啓発活動や相談体制の整備、学外機関との連携に取り組む。初代

室長には大村知子副学長が就任した。

興直孝学長は設置の狙いを「学内の活性化には

男女共同参画推進室の看板を掛ける興学長(左)ら  
静岡市駿河区大谷の静岡大

女性、外国人、若手を問わず、すべての人材の積極的な参画が必要」と述べた。現在検討中の大学の運営の将来ビジョンでも男女共同参画を戦略の一

つに位置付けていくという。同室と併せて女性研究者の支援方策を企画、立案する「男女共同参画委員会」も新設した。

同大は教職員が育児・介護と仕事を両立しやすい環境を整備するため、上限50%まで労働時間を低減できる短時間勤務制度や、有給休暇とは別枠に年七日取得できる介護休業制度を来年度から導入する。学生向けには科目「男女共同参画社会」を新設し、次世代の参画意識の浸透を図る。